



赤ちゃん登場!



ギャラリー



「1い(位)になるぞ!」

重原幼稚園 5歳児
ふかやさゆ
深谷紗由ちゃん

リレーで1いになるために、チームでさくせんをかんがえたよ。ほんばんは2いだったけれど、チームのみんなとさいごまであきらめずにはしたよ。



「かがやくちょうちょ」

富士松北小学校 3年
みうらりん
三浦凜さん

「北っ子の森」にいたらいいなと思うちょうちょを作品にしました。触角を細かく切るのが難しかったです。ひらひらした羽の形や、背景の配色を工夫しました。

こんにちは!

筑波大学陸上競技部駅伝主将

かわせひろむ
川瀬宙夢さん(23歳・井ヶ谷町)

先日行われた愛知駅伝で、刈谷市代表として9区を任された川瀬宙夢さん。小学生の時から持久走の成績が良く、中学校の陸上部顧問の先生から誘われたことをきっかけに陸上を始めたそう。高校生の時、インターハイに出場したことを機に「トップレベルの環境で走りたい」という



思いが強くなり、強豪ひしめく関東の大学への進学を決めました。

進学した筑波大学では主将を務め、箱根駅伝を目指しています。毎日20~25キロをベースに練習する中で、長距離にも対応できる走りを習得し、粘り強い走りができるようになりました。また、どんなに苦しくても走りきることができる強いメンタルも持ち合わせています。

かつては箱根駅伝に出場していた筑波大学ですが、25年間出場に至っていません。私立大学が優勢の中で「少数精鋭で国立大学として箱根に出ることが面白い」と闘志を燃やす川瀬さん。駅伝強豪校のような人数はおらず、一般入試を経て入部した部員がほとんどですが、「全体のレベルアップを図り、全員がベストを尽



くすことができれば箱根駅伝出場も不可能ではない」と熱い思いを話してくれました。

「陸上は生活の中心で人生のほとんどを物語っている」と話す川瀬さんは、医学部の学生として学業にも励んでいます。夢はスポーツドクターになること。整形外科医として選手生命に関わる医療に携わりたいそうです。陸上選手としても医学生としても夢を追いかけ、川瀬さんは全力で走り続けます。